



やるきほんききさき
木佐木

神奈川県議会議員
日本共産党

2025.2.19
木佐木ただまさ news
 発行：党横浜北東地区委員会
 横浜市鶴見区潮田 3-147-6
 TEL：045-511-1021

Profile
 ▶1984年 山梨県出身
 ▶鶴見区馬場在住
 ▶神奈川大学法学部卒
 ▶よこはま健康友の会会長
 ▶横浜東民商顧問

核廃絶への誓い、次世代への灯火



集会の最後に、横断幕を掲げて「原爆を許すまじ」を合唱



和田さんはスライドを使いながら当時の状況を語ってくれました

2月22日鶴見公会堂で開催された、日本被団協事務局次長としてノーベル平和賞授賞式に参加された和田征子さんの報告集会に参加しました。

ノーベル平和賞の授賞式が行われた12月10日に生まれた被爆4世になる娘も参加しました。

核廃絶への決意、次世代へ継承

「原爆の悲惨さを二度と繰り返してはならない」。和田さんの講演は、被爆体験の生々しい証言を通して、核兵器の非人道性と脅威を私たちの心に深く刻み込むものでした。高齢化が進む被爆者(平均85歳)の切実な訴えは、核兵器廃絶への強い決意表明であり、平和への祈りそのものです。

講演では、証言のデジタルアーカイブ化による継承の促進、若い世代への核兵器の危険性の教育の強化などが語られ、次世代が被爆者の想いを受け継ぎ、核兵器のない世界を目指す



運動をさらに発展させていくことの重要性を訴えていました。核兵器禁止条約の批准国拡大こそが、国際社会全体の責務であり唯一の被爆国日本の重大な責務です。最後に和田さんが語った「核兵器を作ったのは人間です。そうであれば、無くすことができるのも人間です」というメッセージは胸にズシンとききました。

核兵器と個人の尊重は両立しえない

あいさつの機会をいただき、私も被爆3世として、また県議会議員として「県民の命と暮らしを守る議員の仕事と核兵器の存在を容認することは絶対に両立しえないこと、議会内外で日本政府が核兵器禁止条約に批准し核なき世界の実現に力を尽くしていく決意」をお話ししました。

集会前日の県議会では、国政与党の会派から「核兵器は絶対悪」という言及もあり、本気でそう思っているのであれば立場を超えて日本政府に批准を求めることに何の障害もないはずです。被爆4世の娘が大きくなるころには、「昔は核兵器という怖い兵器があったんだよ」と過去形で語るができるよう声を上げ続けます。